

土佐希望の家通信



<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
<http://www.i-kochi.or.jp/hp/tosakibo/> Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPY LIFE
家族の窓
植松三津子様
3 病棟あざみ



残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続いていますが、みなさまお変わりはありませんか。
 きのう、つぼみだった朝顔の花が、今朝は朝つゆをふくんで可憐に咲いています。あざみの植松と申します。私の長女(三津子)は四十七歳になります。重症児者のほとんどの人が赤ちゃんの時に生じた重い脳障害が原因だそうですが、三津子も仮死分娩で、脳性マヒと診断されました。2歳を過ぎた頃から、当時の「子鹿園」へ母子入園をし、江口壽榮夫先生には、随分お世話になりました。先生は三津子の足の機能を見ぬいて下さり、「この子は足がつかえる」といつて指導して下さいました。
 今、頸椎性頸髄症となり、だんだん寝たきりになりましたが、それでも右足で時間をかけてパソコンをしています。その姿を見て『あなたはえらいね!パソコンが出来る、お母さんは手も動くけれど、パソコンオンチ。あなたはえらいよ』といつと、照れくさそうに笑います。
 そんな重度障害でも、ひとりひとりが何かを見つけて、江口先生のいわゆる「生きていく実感」がもてるように、みんなで支えてやりたいものです。
 三津子も時々外泊をとりまします。お風呂に入るのが大好きです。土日は兄達がお風呂を介助してくれます。来れない時は

ヘルパーさんを利用します。長期のときは、市の『居宅支援サービス』を利用しています。
 母も無理をしないように、職員さんに助けて頂き、ヘルパーさんにも助けてもらいながら頑張りたいと思っています。まだまだ暑さが続きます。どうかみなさんお体を気をつけて。
 植松喜代子



ボランティア紹介



島崎音楽教室様

瀬川先生と島崎先生

月に一度だけ瀬川倫子先生と一緒に「音楽の時間」という事でボランティアにお伺いさせて頂いています。私と希望の家とのお付き合いは大変古く、最初はボランティアではなく、職員の方達のピアノクラブの指導にお伺いしていました。



島崎 靖子

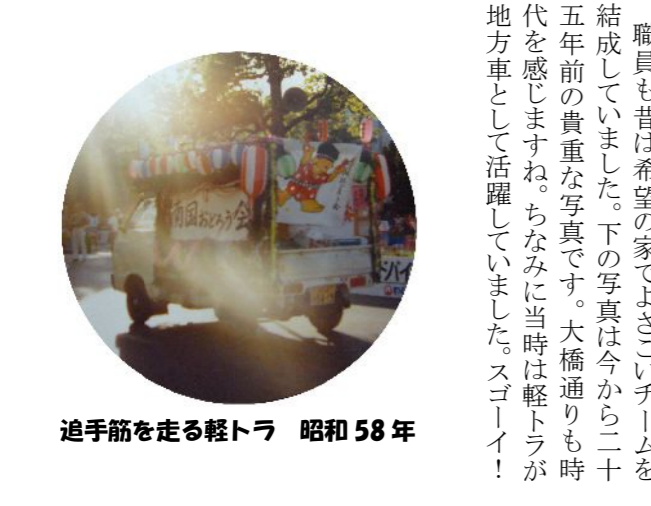
職員の方達は大変お忙しい、レッスンにはほとんど出席してもらえませんが、発表会やクリスマス会には勤務を繰り合わせて全員参加して下さり、練習不足も何のその、いつも同じ曲を弾いても楽しく盛り上げて下さいました。
 カチカチ石頭で、音楽の勉強は辛くてしんどい物だと思っていた私には、大変な驚きでこの「楽しむ」という事は、お陰様で私の音楽指導の上で現在とても役に立っております。そしてピアノクラブもいつしか消滅してしまい、その後自宅の生徒達と演奏のボランティアにお伺いをして居りました。
 一〇五年ぐらい前から「音楽の時間」という事で、第2西病棟へ瀬川先生と二人でお伺いさせて頂いています。最近では、園生の方達の反応もだいぶ分かってきて、結構楽しくやっています。普段はキーボードと小物の打楽器しか使用していませんが、その中で反応の良いのは、トライアングル・大だいこのようです。歌に関しては、歌詞に忠実に歌うよりは、名前を入れて替え歌にした方が喜んでくれます。
 そして、その時の出来栄は、当日勤務の職員の方次第のようで、私達はただきつかけを作っているだけのようです。ちなみにピアノの職員の方が歌った時は、凄く反応がありました。最近では、看護師さん達も参加して下さり、楽しく嬉しい方向に向かっていくように、お伺いするのが待ちどろしいです。
 希望の家からは、色々な物を得させて頂いて居ります。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

夏は暑いものだけど、今年の夏は暑い。とにかく暑い。でも南国高知だから、しかたがない。この暑さを吹き飛ばすものは、やっぱり『よさこい』ということで、今年は希望の家に2組のよさこいチームが来てくれました。
 七月三十日、高知中央高校の方々、また八月十日には、チーム「えんや」の方々、希望の家正面玄関前で素敵なよさこい踊りを見せてくれました。
 利用者の方々も年に一度のよさこい踊りをひと目見ようとたくさん集まり、普段の暑さを忘れるほど、楽しい時間を過ごすことができました。

夏の暑さを飛ばすよさこい!



チーム「えんや」の皆さん



追手筋を走る軽トラ 昭和58年



高知中央高等学校の皆さん



職員もたくさん参加していましたよ!



当時の大橋通りは昭和の香り



☆ 編集後記 ☆
 今年の夏は暑い日が続きますね。今回はよさこい特集しました。よさこいが始まるとう夏がきたという感じですね。夏バテしないように乗り切りましょう☆

ありがとうございました。
 今後ともよろしく願います

- 【寄付金・寄付物品】
- 宮崎みどり様 池尻浩一様 尾崎剛様 松岡伸定様 大成サーブス四国支社様 日本トーター様 竹村真弓様 高知競輪競馬場内保安労働組合様 サンケイスポーツ様 小林豊様 高知広告センター様 サンコン様 三宮印刷様 城南広放様 福ちゃん出版社様 中四国デイリースポーツ社高知支社様 高知競輪競馬労働組合様 高知競輪競馬道協会様 日本自転車競技会中四国支部様 日本自転車競技会中四国支部第4競技実施チーム様 大阪日刊スポーツ新聞社様 四国毎日広告社高知支社様 高知市商工観光部公営事業課様 佐々木則幸様 山本登様 高知放送様 坂田二子様 森田光子様 大野ヤエ様 西村様 野崎勝久様 光富明美様 岡林宏一様 高知農業高校様 甲藤健三様 澤本憲夫様 松田貞美様

「」厚意
 6月〜8月

ノロウイルス 豆知識

施設長 江口壽榮夫先生

Q. ノロウイルスって何ですか？

A. 食中毒を起こすウイルスの一種です。以前は食中毒といったら細菌であるサルモネラ菌、腸内ピブリオ菌、ぶどう球菌といったものが多かったのですが、最近では細菌よりはるかに小さいウイルスの一種であるノロウイルスによる食中毒が増えてきました。

Q. では、食中毒はどんな時に起こるのですか？

A. 細菌やウイルス汚染された食物を食べると、集団感染で発熱、腹痛、下痢、嘔吐などの胃腸炎の症状が起こるものです。特にノロウイルスによる場合には、細菌と比べて、季節に関係なく、かつ、罹患者が多いので、病院や施設内では特に注意して下さい。

Q. どのようなことに注意したらよいですか？

A. 食材は加熱処理したもので、食材に触れる人は手洗いを励行して下さい。一方、感染者の嘔吐物や便にウイルスがいますので、特別な処理が必要です。

Q. ノロウイルス食中毒が疑われる人はどうしたらよいでしょうか？

A. 嘔吐、下痢、発熱などの症状(ノロウイルスに感染している疑い)のある調理、介助従事者は、食品の取り扱いや介助に従事しないことが大切で、毎日の健康チェックを必ず行って下さい。その他の人も、土佐希望の家の感染症マニュアルに従ってください。

Q. インフルエンザのような予防ワクチンはないのですか？

A. ありません。



プール開きだ！！



(松下功)

ある朝、長い渡り廊下で、ある職員に会いました。私も同じくらいに反対側から廊下を渡り始めたのですが、私が中ほどに来てもその職員は3分の1も進んでいませんでした。特にゆっくり歩いていただけではありません。その方は、私がただ歩いている間、廊下にある窓を1つ、1つ開けていました。(窓は全部で5つあります)「いつも、しているのですか？」と聞くと、「毎朝、更衣室に行くときに開けて、帰りは閉めています。」との答え。失礼ですが思わず「なぜ？」と再度聞いてしまいました。換気のためと言った後に「利用者の方と廊下を歩いた時、気持ちいいんです。」と笑いながら答えてくれました。私は、暖かい気持ちに感動しながら、少し恥ずかしくなり反対側にある小さな窓を開けました。



なかなかおいしそうやね〜☆



満足♡



七月十一日(金)、土佐山田町のうどん屋「やまいち」さんに招待され、1病棟の古宮さん、沢村さん、2病棟の前野さん、坂田さん、3病棟の中内さん、植松さん、大家さん、村上さん、計8名と職員で行ってききました。本格手打ちうどんをみんなで頬張り、たいへん楽しい昼食となりました。

ちゅーりん

人生山あり谷あり...という言葉がありますが、私は人生笑いあり涙あり...だと思います。涙の数だけ強くなれるよと歌詞にもありますが、笑顔の数だけ幸せになれると信じています。だから利用者の皆様が少しでも幸せになれる様にサポートをしていきたいと思っています。それも私の仕事だと思いつけてもらっています。



フルーツマトたくさん取れました！



ごちそうさまでした！

おいしいフルーツ！

おいしいうどん！

私の仕事③

3病棟東あさみ療育 大坪真紀



私の仕事は、主に食事、排泄、入浴介助等利用者の方の生活のサポートをさせてもらっています。しかし、私の仕事はそれだけではないと思っています。この仕事についてから、希望の家に就職してから、常に、『楽しく明るく元気よく！』をモットーに働いています。

私が日勤責任の時、ホールで朝の朝礼の際も一日の流れを皆様に報告し、そして最後に、「今日も一日頑張るゾー」と大きな声で言うと、利用者の方が「オー」と言ってくれます。これは一日元気がよく過ごしてもらいたい気持ちと自分にも明るく頑張ろうと喝(カッ)を入れていきます。

人生山あり谷あり...という言葉がありますが、私は人生笑いあり涙あり...だと思います。涙の数だけ強くなれるよと歌詞にもありますが、笑顔の数だけ幸せになれると信じています。だから利用者の皆様が少しでも幸せになれる様にサポートをしていきたいと思っています。それも私の仕事だと思いつけてもらっています。



遊覧船ですっかりくつろいでいる亀井さん

1病棟療育 沢村純代

一泊旅行(一病棟)

【高知市内観光 遊覧船・五台山花絵巻】

六月十八日と十九日に、利用者4名、保護者2名、付き添い職員5名で「高知を知る旅」に出掛けました。

旅の目玉は浦戸湾をめぐる観光遊覧船です。車酔いする利用者の方は、船酔い心配しましたが「1000人以上乗って、ひっきりも酔いした人はおりません！」という船頭さんの心強い言葉を信じて乗船しました。船頭さんの軽妙なアナウンスと心地よい潮風にあたり皆さん船酔いもせず、ゆったりとくつろいで九〇分の船旅を楽しみました。

船旅を終え着岸しようという時にハプニング発生。なんと船を止める係のお姉さんが、棒をひっかけ船を岸に寄せようとしてそのまま「ザブーン」と川に落ちてしまったのです！一瞬ボカーンと事態が飲み込めない私達。浮かびあがってきたお姉さんは「大丈夫ですよ。」とニコリ笑っていたけれど本当にビックリしました。その夜は、桂浜荘で泊まり2日目に五台山の花絵巻を見に行く予定でしたが、2日目は雨で予定を変更し、イオン高知にゆっくり過ごして帰ってきました。雨には降られましたがハプニングつきの船旅を楽しんだ一泊旅行でした。

五月十四日、日本重症児福祉協会、平成二十年度永年勤続表彰式があり、土佐希望の家から四名の職員が勤続十年を迎え、表彰されました。

- 恒石千穂 (看護師)
- 田中啓史 (看護師)
- 柳村淳 (療育員)
- 松本真幸 (アドバイザー)

2008 希望の家祭 開催決定！

10月12日(日) 10:20~15:00

テーマは「笑顔満開！」

今年もフリーマーケット、喫茶、展示、ステージショーなど予定しています。たくさんの参加お待ちしております！！